

「つなげよう、支えよう森里川海」ミニフォーラム in 小田原 開催結果

1. ミニフォーラム開催結果

日時：平成 27 年 11 月 8 日（日）15:00～17:30

場所：小田原市役所 7 階大会議室

参加者数：104 名（その他、関係者（スタッフ、発表者等）26 名が参加）

プログラム：

- ・主催挨拶、共催挨拶
- ・基本講演（「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトについて：環境省）
- ・地域の取組活動の報告
（①ブリの森づくりプロジェクト、②サシバプロジェクト、③ほうとくエネルギー株式会社）
- ・グループセッション
～地域で残したい森里川海や人とのつながり、それを未来へひきつぐ取組～

2. アンケート実施結果

- ミニフォーラム参加者を対象にアンケート調査を実施。70 名から回収。

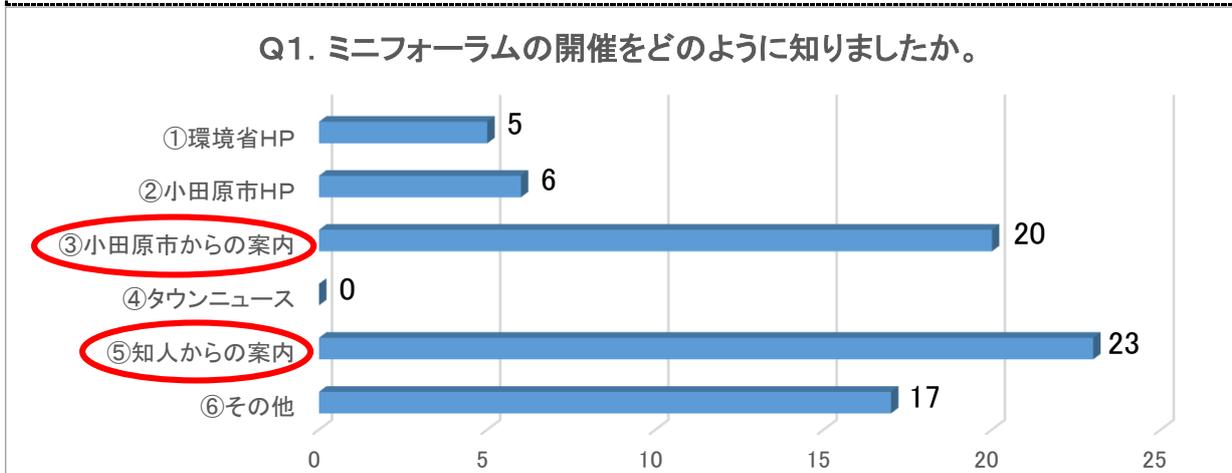
<設問>

1. ミニフォーラムの開催をどのように知りましたか。（選択式・回答数 71）

- ①環境省HP／②小田原市HP／③小田原市からの案内／④タウンニュース／⑤知人からの案内／⑥その他（具体的に：）

<結果概要>

- 「知人からの案内」「小田原市からの案内」と回答した者が多数。「その他」と回答した者も実際には知人からの案内により開催を知った者がほとんどであり、手間はかかるものの対象に直接案内することが有効であるとわかった。
- 「その他」の回答例としては、「チラシ」「神静民報」など。

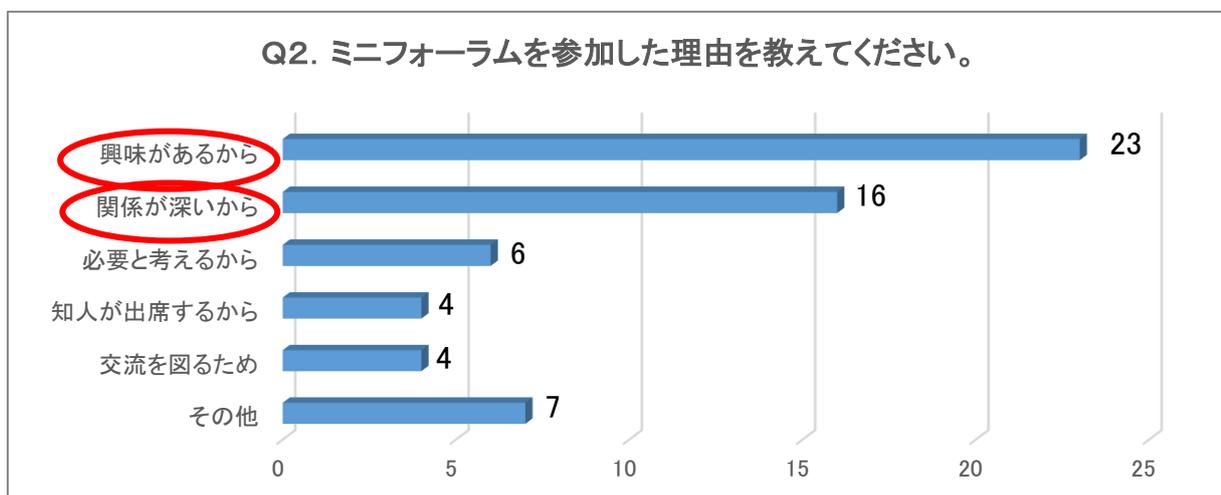


<設問>

2. ミニフォーラムに参加した理由を教えてください。(自由記入式・回答数 60)

<結果概要>

- 「森里川海のコネクト・自然保護・地域の取組に興味があるから。」との趣旨の回答が最も多く、次いで多かったのは「自身の仕事・活動（ボランティア活動等）に関係が深いから。」との趣旨の回答であった。
- 「自然環境保全が必要と考えるから。」「知人が出席するから・知人に誘われたから。」「環境保全活動に携わる人々と交流を図るため。」との回答も複数あった。
- その他の回答例としては、以下のとおり。
 - ・環境省に現場の声を届けるため。
 - ・地元自治体に相談窓口がなかったため。
 - ・こういったことに興味を持つ中学生が一人でも増えるように。

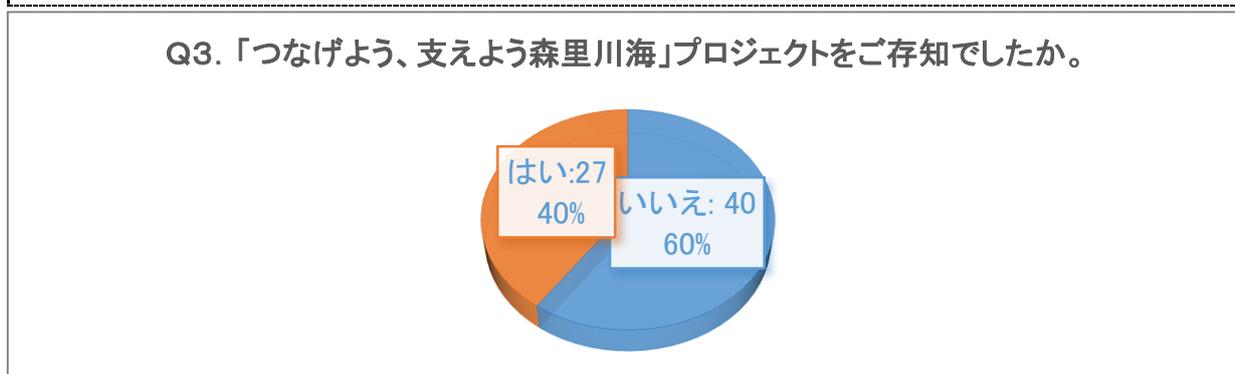


<設問>

3. 「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトをご存知でしたか。(選択式・回答数 67)
はい・いいえ

<結果概要>

- 「いいえ」と回答した者が「はい」と回答した者を上回り、今回のミニフォーラムをきっかけに同プロジェクトを認識した者が多数いたことがわかった。



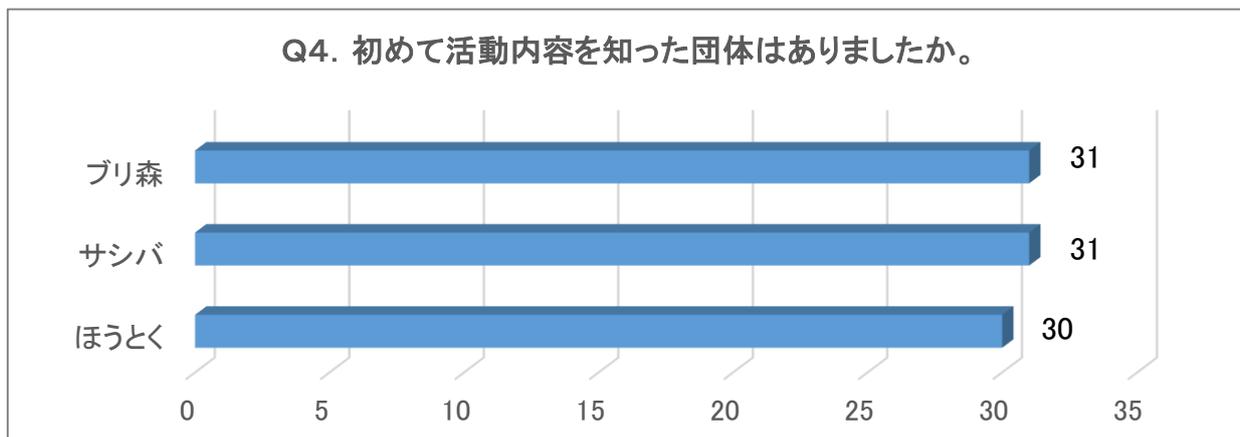
<設問>

4. 活動報告を行った団体のうち初めて活動内容を知った団体はありましたか。(選択式・複数回答可)

①ブリの森づくりプロジェクト／②サシバプロジェクト／③ほうとくエネルギー株式会社

<結果概要>

● いずれもアンケート提出者の半数近くに認識されていなかったことがわかった。



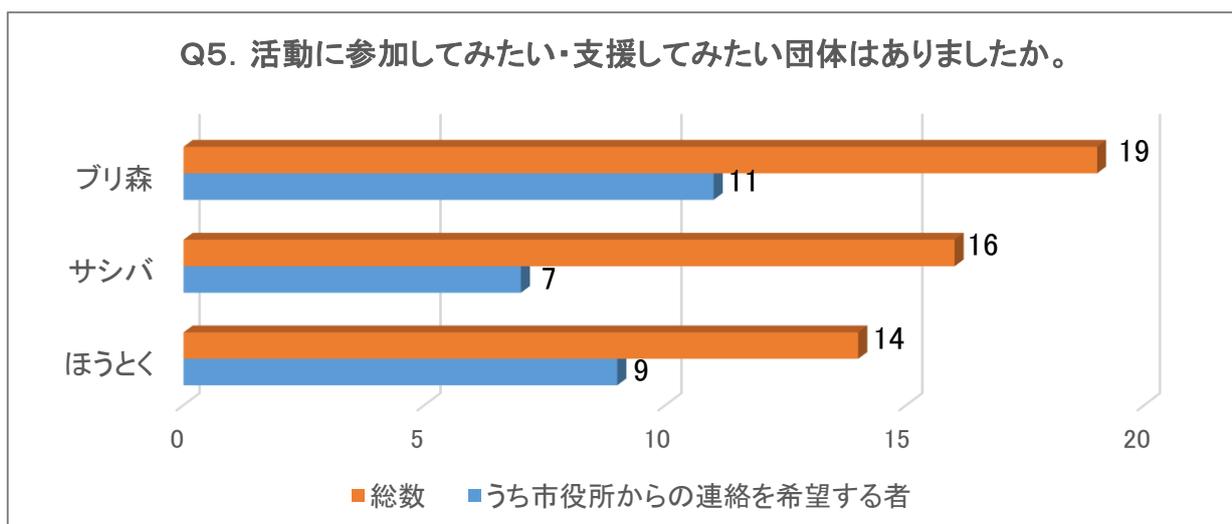
<設問>

5. 本日のミニフォーラムを踏まえ、活動に参加してみたい・支援してみたいと感じた団体はありましたか。(選択式・複数回答可)

①ブリの森づくりプロジェクト／②サシバプロジェクト／③ほうとくエネルギー株式会社

<結果概要>

● いずれの団体についても、10名前後が参加を希望し、かつ市役所からの連絡を希望した。



<設問>

6. 現在、取り組んでいる環境保全活動がありましたら、活動の内容を具体的に教えてください。(自由記入式・回答数 52)

<結果概要>

- 回答として多かったのは(回答が多い順に)、「間伐等の森林整備」「有機農業の営農等による里山保全」「自然観察会」「メダカ等の保護」「清掃活動」であった。
- その他、親子環境学習会の企画・運営や水問題への取組といった回答もあった。

<設問>

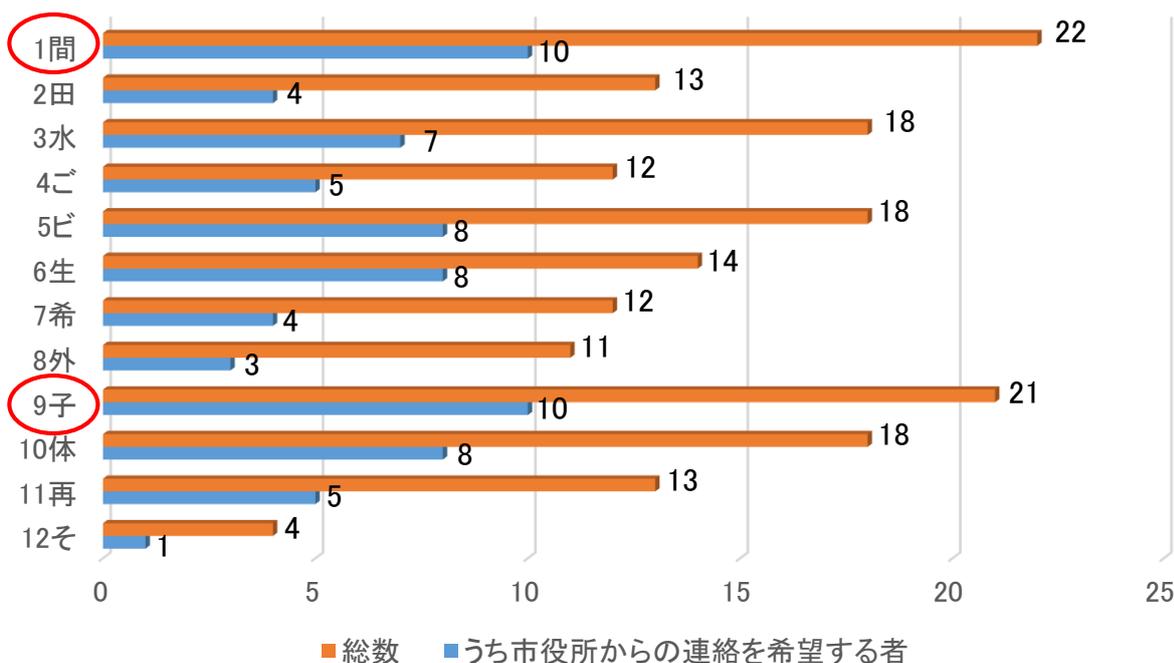
7. 今後参加してみたい環境保全活動はありますか。(選択式・複数回答可)

- 1.間伐・植栽等の森林整備
- 2.田植え・稲刈り・畑の耕作
- 3.水辺環境の再生
- 4.ゴミ拾い・清掃活動
- 5.ビオトープ整備
- 6.生きもの観察・生態調査
- 7.希少動植物の保全
- 8.外来生物・有害鳥獣対策
- 9.子どもへの環境教育
- 10.体験型イベント・エコツーリズム
- 11.再生可能エネルギーの利活用
- 12.その他(具体的に:)

<結果概要>

- 回答として特に多かったのは、「間伐・植栽等の森林整備」「子どもへの環境教育」であった(ただし、「間伐・植栽等の森林整備」と回答した者のうち半数近くは、Q6において「間伐・枝打ち等の森林整備」と回答している)。
- 「その他」の回答例としては、以下のとおり。
 - ・プラットホームの活動を継続していきたい。
 - ・環境営利事業による利益を基金化し、生ごみの炭化を行いたい。

Q7. 今後参加してみたい環境保全活動はありますか。



<設問>

9. 自由記載欄(本日の感想、小田原市への意見・要望など)(回答数 35)

<結果概要>

- 市役所に対しネットワークの構築と仲介役の機能を求める意見が多かった。

参考:主な意見

(ミニフォーラムの運営に関する意見)

- 内容を詰め込みすぎている。活動報告の代わりに参加者の生の声をしっかり拾ってほしかった。環境省の職員にも話を聞いてほしかったが時間がなくて残念。
- もう少し参加者同士で意見交換したかった。
- (特に前半) 音声聞き取りづらかった。
- 会場の場所がわかりづらかった。
- 楽しく真面目なWSだった。「えんたくん」が良かった。

(ミニフォーラムに出席した感想)

- 中井審議官の熱い想いに感動した。
- こういった取組について初めて熱いものを感じた。
- 小田原・箱根地域での市民の活動の活発さ・レベルの高さに感銘を受けた。
(※同趣旨の回答が複数あり)
- 市民の素晴らしい活動が小さくまとまらないよう手を結んでいきたい。また、現在こういうことに興味をもっている人が少ないので増やしたい
- このような話を中高生に講話として話してみるのも良い。
- 学校の行事にしても良いのではないか(幼い頃から興味・関心を与え、環境保全活動を「当たり前」にする)。授業よりもやるべきことはたくさんある。
- 目指すべき方向を具体的に定めて、官民一体となってプロジェクトを進めていけるよう努力したい。

(小田原市に対する要望)

- 環境部にこの分野に関わり続ける専属の(異動しない)職員を置いてほしい。
- 地域の自然保護団体のネットワークを築いてもらいたい。森里川海プロジェクトに参加するためにはある程度大きい団体として活動することが必要だと思う。
- つながりを活かして、小田原全体の環境を考えるきっかけを作ってほしい。また、ミニフォーラムの参加者をうまくプラットフォームなどの活動につなげてほしい。
- 様々な団体の活動の周知が限定的であるため、小田原市が仲介役として工夫を凝らし全市民に広めるべき。

(※同趣旨の回答が複数あり)

- 活動の場の情報提供を受けたい (HP 上でも可)。
- 市民に対し環境保全の大切さを PR することが必要。また、よい環境づくりには実行が重要であることも PR してもらいたい。
- 予算的な制約があることから企業とタイアップしてほしい。
- 近隣市町・県とも連携して取り組んでほしい。
- 地域の生業を活かし、成り立つようにしていくことを考えるべき。
- 小田原の漁業思想にヒントがある。三重県・尾鷲市とのタイアップも良いと思う。
- 活動の初期段階から行政が積極的に関与してほしい。
- 機材置き場、補助金、伐った木を有効利用できるサイクルの構築を期待したい。

(その他)

- おだわらっこの約束にあるように「すべての命を大切にする」小田原市であってほしい。シカやイノシシは人間が壊している自然の中でもくもくと生きているだけなので、捕獲するだけではなく、シカの生息地を返してあげてほしい。
- 環境保全のためには、まず「水」について考えることが重要。